Just do it!

令和３年度
香取市立栗源中学校
第２学年通信
第２３号
（３月２５日発行）

月日	校　内　行　事　等	もちもの等
２８（月）	午後:離任式	・制服※春休みのしおり参照
２９（火）		
３０（水）		
３１（木）		
4/1（金）		
２（土）		
３（日）		
４（月）		
５（火）		
６（水）	春休み終了	
７（木）	着任式･始業式（午前）　**＊弁当持参** 入学式準備（午後）	・制服 ※春休みのしおり参照
８（金）	入学式（午後）　**＊弁当持参**	・制服
９（土）		
１０（日）		

【離任式の日程】　３月２８日（月）

～１４：００　登校（新教室へ）
１４：００～１４：１５　出欠確認，日程確認
１４：２０～１４：５０　特別清掃・会場準備
１４：５０～１５：２０　着替え・諸連絡・帰りの会
１５：３０～１６：００　離任式
１６：０５～１６：１５　見送り
※１６：２５　生徒下校
※自転車置き場，下駄箱も新学年の場所を使用する。

《持ち物》
- □制服・名札
- □上履き
- □春休みのしおり
- □筆記用具

【着任式・始業式の日程】　４月７日（木）

～　７：５５　生徒登校
８：００～　８：１５　朝読書
８：１５～　８：２５　朝の会
８：３０～　８：５５　清掃及び会場準備
９：１０～　９：３０　着任式
９：３０～　９：５０　始業式
　　学年・学級担任発表
１０：００～１１：１０　学級活動(教科書配布含)
１１：２０～１２：１０　入学式練習（体育館）
１２：１０～１３：００　お弁当・休憩
１３：０５～１４：４５　入学式準備（体育館）
１４：５０～１５：１０　帰りの会　**※１７：００**

《持ち物》
- □制服・名札
- □上履き
- □ジャージ
- □春休みのしおり
- □各教科の課題
- □朝読書用の本
- □筆記用具
- □お弁当

１年間、ご協力ありがとうございました！

【２学年職員より】

２年Ａ組のみなさん，保護者の皆様，１年間本当にありがとうございました。２年生のみなさんと学校生活をいっしょに過ごして感じたことは、とても個性豊かで、将来の可能性とさまざま能力をもっているということです。本年度、２学年のみなさんは、栗源中学校で力強く能力を発揮してくれました。

学習面では、私が担当する社会の授業中は内容を深め、出来事の繋がりを考えることができました。また、話し合い活動でも誰とでもすぐに話し合いができて課題に対しての答えを深めていくところが良かったです。学習の振り返りや道徳の感想などを読むのが楽しみになるくらい皆さんの前向きな態度が好感を持つことができました。

運動会や宿泊学習、３年生を送る会なども良い思い出です。特に思い出に残っているのは宿泊学習です。宿泊することにより、生徒と教員の団結を高めたと思います。

４月からは、３年生になります。３年生として学校をリードし、後輩たちに栗源中学校の伝統を引き継いでいって欲しいです。受験生として自己実現できるように、１年後の自分の姿をイメージし、計画的に学習をしてください。自分の良さを伸ばし、更なる成長に期待しています。

２学年主任　木藤　裕輝

２Ａの皆さん、保護者の皆様、昨年に引き続き、２年間ありがとうございました。今年は、私自身も皆さんと一緒に成長できた１年間だったかなと思っています。２Ａの皆さんだったからこそ信頼して生徒の皆さんに任せてしまった場面もたくさんあったかと思います。そんな時でも「大丈夫っす！みんなでやっときます！」というような雰囲気で皆さんがいてくれたので、私自身もとても助けられていた１年間でした。

そんな皆さんの集大成として臨んだ３年生を送る会では、自分たちの力で劇を完成させ、成功をさせることができました。そんな姿を見て、皆さんの成長をとても実感しました。同時に、皆さんの３年生となって学校を引っ張っていく姿が楽しみにもなりました。

いよいよ４月からは、「３年生」すべてのことが中学校生活のラストになります。授業、学校行事、部活など思い残すことのないように。そして、３年生の最後には高校受験も控えています。悔いの残らないように全力で取り組んでいきましょう！

最後の中学校生活を楽しんで行ってください！

２学年担任　蓑輪　　隆

様々な制約のある中で、宿泊学習もでき、３年生を送る会では、のびのびと演技する皆さんの姿に心打たれました。来年はいよいよ３年生。受験生として自分の道を切り開くべく日々精進してください。暗い話題が多い時代ですが、『いつも心に太陽を』持ち続けてください。

心疲れた時に、力強く生きる勇気が出るよう次の詩を皆さんに送ります。

『心に太陽を持て』　チェーザレ・フライシュレン　（訳　山本　有三）

心に太陽を持て。あらしがふこうと　ふぶきが　こようと　天には黒くも、地には争いが絶えなかろうと、いつも、心に太陽を持て。

くちびるには歌を持て、軽く、朗らかに。自分のつとめ、自分のくらしに、よしや苦労が絶えなかろうといつも、くちびるに歌を持て。

「苦しんでいる人、なやんでいる人には、こう、はげましてやろう。

「勇気を失うな。くちびるに歌を持て。心に太陽を持て。」

１年間、一緒に過ごせた日々に、感謝。

２学年かがやきＢ担任　篠本　理恵